

ベントグラス 「かさ枯病」 適用拡大登録！



植物成長調整剤「ドラード液剤（ベンジルアミノプリン）」は、「プロキシ液剤」との混用によるスズメノカタビラ出穂抑制を可能とした世界初の特許（国内、米国、韓国）で、リスクを負って防除するのではなく芝生として“共存”させ、グリーンの品質を高める新しいコンセプトの製品です。
 このたび本剤は、ベントグラスの「かさ枯病」の適用を有する数少ない農薬のひとつとなりました。

※総使用回数が「3回以内」から「6回以内」に拡大登録となりました。

【適用と使用方法（抜粋）】

2017年8月9日現在

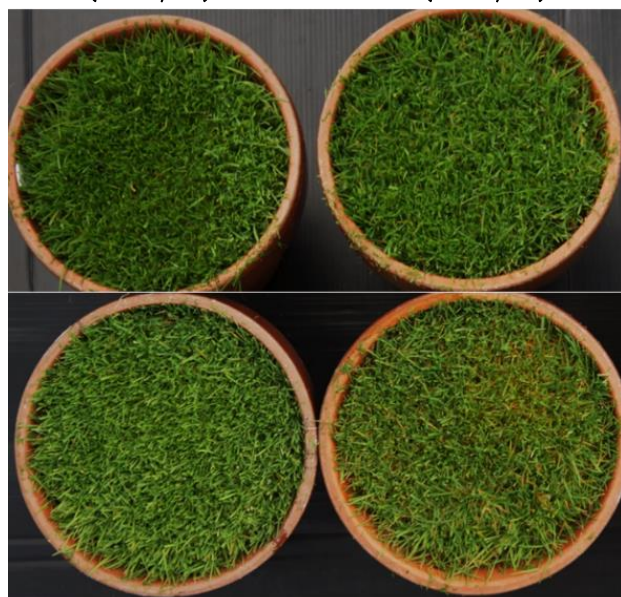
作物名	適用病害名	使用時期	希釈倍数	使用液量(m ²)	使用方法
西洋芝 (ベントグラス)	かさ枯病	発病前～発病初期	333～667倍 (薬量として0.3～0.6ml/m ²)	200ml	散布

本剤及びベンジルアミノプリンを含む農薬の総使用回数：6回以内

ポット試験

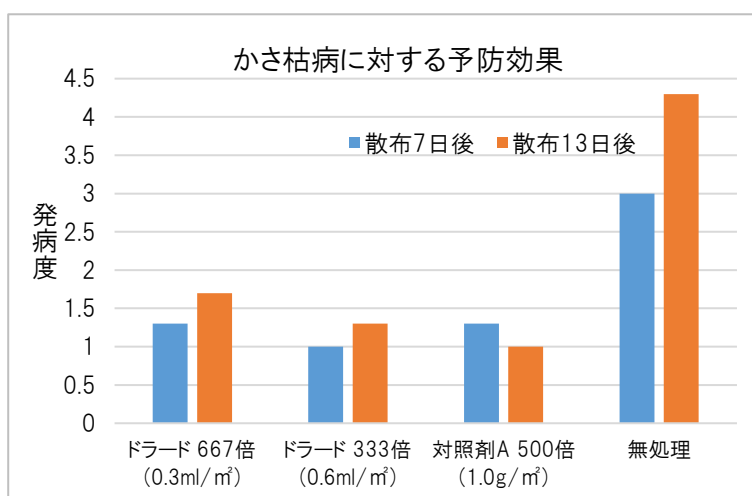
ドラード液剤 333倍
(0.6ml/m²)

ドラード液剤 667倍
(0.3ml/m²)



対照剤 A 500倍
(1.0g/m²)

無処理



試験場所：ガラス温室内

試験規模：直径 15cm 素焼鉢、3 反復

散布水量：ドラード液剤は 0.2ℓ/m²、対照剤 A は 0.5ℓ/m²

病原菌接種：散布翌日に接種

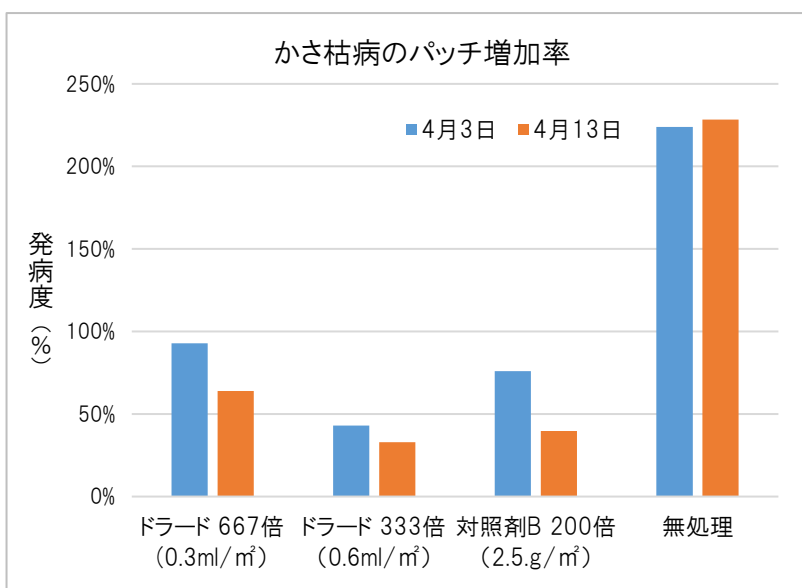
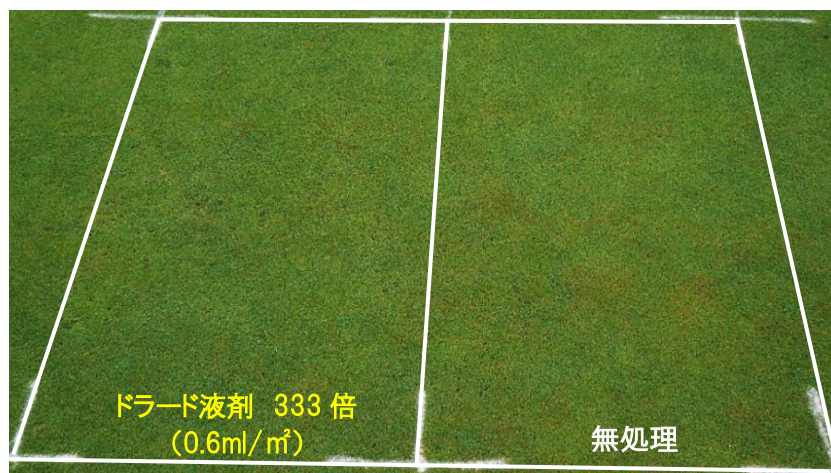
調査方法：発病度(0:発病なし～5:全体が赤褐変)

ドラード液剤は対照剤 A と同等の防除効果を示し、無処理区と比較して防除効果が認められた。薬害は無かった。

圃場試験

試験場所: 研究所内ベントグラス圃場
 試験規模: 1 m²/区、3 反復
 散布水量: 0.2ℓ/m²
 散布日: 2月23日
 病原菌接種日: 2月24日
 調査日: 3月7日(接種12日後)
 調査方法: 発病面積率(%)

ドロード液剤は無処理区と比較して防除効果が認められた。薬害は無かった。

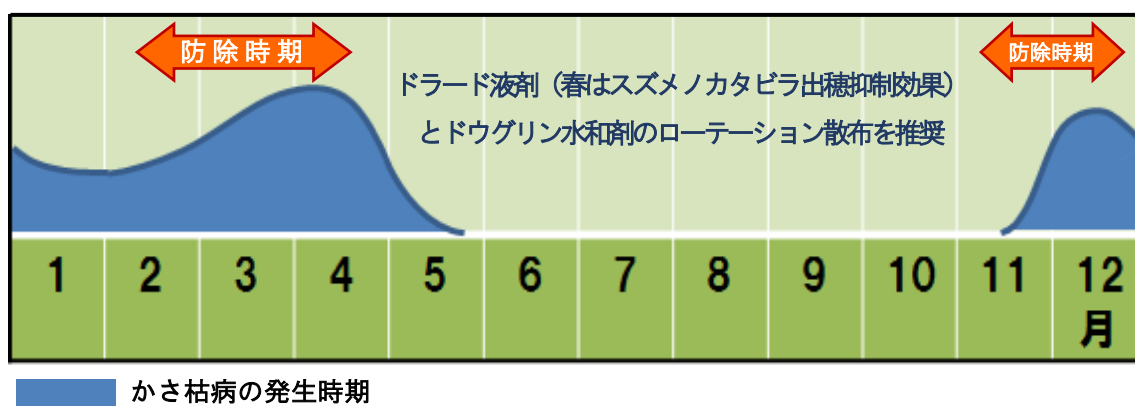


H27年度 日本植物防疫協会委託試験
 試験機関: (一財)関西グリーン研究所
 試験場所: 大阪市内ゴルフ場練習グリーン(ベントグラス)
 試験規模: 1 m²/区、3 反復
 散布水量: ドロード液剤は 0.2ℓ/m²、対照剤 B は 0.5ℓ/m²
 病害発生状況: 中発生
 散布日: 3月20日、4月3日
 調査日: 4月3日(第2回処理前)、4月13日(最終調査)
 調査方法: 処理時からのパッチ増加率(%)

ドロード液剤の 333 倍処理は、対照剤 B と比較して同等の防除効果を示し、無処理区に対して高い防除効果が認められた。667 倍処理は、対照剤 B と比較してやや防除効果が劣ったが、無処理区に対して防除効果が認められた。いずれの処理において薬害は無かった。

上手な使用方法

本剤は病害発生後の防除効果が劣りますので、なるべく病害発生前からの処理を推奨します。
 また、かさ枯病は難防除病害ですので、他剤とのローテーション処理を行い、複数回の処理を推奨します。



使用前にラベルをよく読んでください。ラベルの記載以外に使用しないでください。小児の手の届く所には置かないでください。

製造販売元

緑をつくり、育て、守る
株式会社 理研グリーン

〒110-8520 東京都台東区東上野4丁目8-1 TIXTOWER UENO 8階
 TEL 03-6802-8301 FAX 03-6802-8577 <http://www.rikengreen.co.jp>

札幌 駐在	TEL011(595)7401	FAX011(595)7402
仙台 支店	TEL022(222)9599	FAX022(267)6505
東京 支店	TEL03(6802)8943	FAX03(6802)8953
静岡 支店	TEL054(283)0691	FAX054(291)4261
名古屋 支店	TEL052(218)3060	FAX052(218)3061
大阪 支店	TEL06(6871)1691	FAX06(6871)1811
福岡 営業所	TEL・FAX: 大阪支店にて代行受付	
グリーン研究所	TEL0538(58)1282	FAX0538(58)1714